記者資料提供（令和２年１月 29 日）
神戸市保健福祉局高齢福祉部介護保険課　宮川・長谷川
TEL：078-322-6562（内線 3179）　FAX：078-322-6047

全国初！認知症「神戸モデル」～事業開始から１年～

―認知症になっても安心して暮らしていけるまちへ―

認知症は、加齢によって多くの人がなり得る病気です。

神戸市では、認知症になっても安心して暮らしていけるよう、平成 31 年より、認知症の診断助成制度と事故救済制度を組み合わせて実施し、その財源を市民税均等割の上乗せとする認知症「神戸モデル」を開始しました。

このたび、事業開始から１年を迎えましたので、実施状況と反響について報告します。

１．神戸モデルの実施状況

(1) 診断助成制度の実施状況（平成 31 年１月 28 日開始）

○申込み状況（令和元年 10 月末まで）

申込み数　　１１，１５６人

※神戸市総合コールセンターへの電話で申込みが可能。
75 歳以上の方（約 23 万人）には順次受診券を送付。

○受診状況（令和元年９月末まで）

・認知機能検診（第１段階）　受診者数　８，７１８人
【結果内訳】　疑い有り　２，７７６人（31.8%）
疑い無し　５，９４２人（68.2%）

・認知機能精密検査（第２段階）受診者数　１，８７２人
【結果内訳】　認知症　１，１３７人（60.7%）
軽度認知障害（MCI）　４８３人（25.8%）
認知症でない　２５２人（13.5%）

(2) 事故救済制度の実施状況（平成 31 年４月１日開始）

○支給状況

３件（見舞金２件、賠償責任保険１件）

	給付種別	給付額	事案の概要
事案１	見舞金 （財物損壊給付金）	15,932 円	他人の所有する自転車を自宅へ持ち帰ってしまい、その自転車に損傷を与えた。
事案２	賠償責任保険	138,632 円	飲食店で食事中に座席を汚損した。 ※支給対象者が法人（飲食店）であり見舞金の対象外となるため、賠償責任保険を支給
事案３	見舞金 （財物損壊給付金）	9,720 円	自宅で着替え中にバランスを崩し、転倒。ガラス扉を割った。

２．神戸モデルの反響

○市民の声

≪診断助成制度≫

・制度ができて受診するきっかけとなった。

・受診の敷居が下がった（無料、身近な医療機関での受診など）。

・検診を受け、自分の状態が確認できた。

・運転免許の自主返納のきっかけとなった。　※検診時に啓発リーフレットを配布

≪事故救済制度≫

・賠償責任保険に入れたので安心して外出できる。

・家族に安心してもらえる。

・ＪＲ鉄道事故以来の不安が薄らいだ。

○その他の反響

出前トーク等　計 67 回　　3,149 名参加

他都市視察　　計 24 回

３．今後について

○国での制度化

神戸モデルの取組みについて、国に対して、全国制度化を要望。

○診断後支援の充実

認知症の早期受診が進む中、診断後の日常生活への支援の充実が必要。

※元年度は、認知症疾患医療センター（市内７か所）で、診断後の専門医療相談・日常生活支援を５月より開始。

（参考）認知症「神戸モデル」の概要

(1) 診断助成制度（平成 31 年 1 月 28 日開始）

①認知機能検診（認知症の疑いの有無を診る）

・地域の医療機関で検診（令和元年 12 月現在　421 医療機関）

②認知機能精密検査（認知症かどうかと、病名を診断）

・専門の医療機関で診断（令和元年 12 月現在　65 医療機関）

(2) 事故救済制度（平成 31 年４月１日開始）

≪認知症と診断された方が対象≫

①賠償責任保険に市が加入（保険料を市が負担）

②事故があれば、24 時間 365 日相談を受付

③非常時のかけつけ（捜索）サービスを含むＧＰＳ（衛星利用測位システム）の導入支援

≪全神戸市民が対象≫

④認知症の人が起こした事故で被害に遭われた方に、見舞金を支給